

平成27年度 試験研究・知識普及概要

《研究課題名・知識普及名》

視野異常患者運転能力評価装置の研究開発

《申請者》

フリガナ：ソフトイーサカブシキガイシャ
所属機関・団体：ソフトイーサ株式会社
職位・氏名：代表取締役 登 大遊

《研究・知識普及の概要》

本研究では、緑内障など視野異常を有する患者の自動車運転能力を、臨床現場で簡易かつ客観的に評価できるシステムの開発に取り組む。

臨床現場で使えるように、簡易なドライビングシミュレータ（本田技研 セーフティナビ Glaucoma edition）をベースにする。これは、すでにいくつかの眼科で実際に使われているが、これまでは障害物に対するブレーキ反応のみを評価するにとどまっていた。

本研究では、アイトラッキングシステムと組み合わせ、被験者が運転画面のどこを見ているのかを特定する。さらに、視野検査結果と組み合わせ、運転画面の中のどこが見えていて、どこが見えていないのかを視覚化する。また、ドライビングシミュレータの計算結果から、障害物が運転画面内のどの位置にあるかを特定し、その障害物が見えているのか見えていないのかを明らかにできるようにする。これによって、障害物への対応が失敗した場合に、見えていたのに単に反応が遅れたのか、見えなくて反応できなかったのかを区別できるようになる。

このシステムによって、患者の視野異常が自動車運転に与える影響を、客観的に評価できるようになると期待される。